

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／海外フィールドスタディB (Overseas Field Studies B)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	国際協力／貧困／多文化共生		
担当者名 (Instructor)	日下部 尚徳(KUSAKABE NAONORI)		
学期 (Semester)	秋学期他(Fall Others)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ICC3723	言語 (Language)	その他 (Others)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

海外のフィールドにおいて、異なる生活や文化、その国や地域が抱える社会課題などを体験を通じて学ぶ。訪問先の人々との交流、対話、協働を通し、異文化社会における自己のコミュニケーション能力の涵養をはかる。

To learn by experiencing the various life styles, cultures as well as social issues on site abroad.

To enhance communication capacity by engaging in cultural exchange, dialogue, collaborative work abroad.

授業の内容(Course Contents)

本年度のフィールドはバングラデシュで、テーマは国際協力・貧困・多文化共生である。フィールドスタディを通して、自ら問いを立て、課題解決への道筋を探る能力を身につける。事前学習において文献調査を行うことの大切さを学ぶとともに、事前学習の枠組みで現地を学ぶのではなく、これまで気が付かなかったことに気が付くという新しい発見を大切に、それらをきっかけとして、独自の問いをたてて調べることの面白さを知る。

なお、本科目は秋学期履修登録科目であるが、履修者の選考は春学期に行う。夏季休暇中に事前学習と海外実習、秋学期に事後学習を行う。各プログラムの事前・事後学習の日程、渡航日程や内容等の詳細は、募集説明会や異文化コミュニケーション学部掲示板に掲示する募集要項にて確認すること。

Under the theme of social development and international cooperation, this course will provide learning opportunities in Bangladesh. Throughout the experiences gained from the overseas field study, students will acquire ability to construct research questions and to solve various problems. Literature survey before departure to the field is important, while exploring the new ideas in the field by unlearning what is learned by the literatures are equally important. Students are encouraged to construct their own and unique research questions and actively engage in learning.

Despite this course being a registered fall semester module, student selection will occur in the spring semester. Preparatory training and overseas field study will be carried out in the summer semester break, and follow-up training will take place in the fall semester. Please check the schedule in detail at the orientation meeting, or in the information on the field study courses posted on the College of Intercultural Communication's bulletin board.

授業計画(Course Schedule)

1. 事前学習1 リスク管理指導
2. 事前学習2 実施地域の概要、課題提示
3. 事前学習3 問題発見という調査—渡航前にどのような問いをたてるか
4. 事前学習4 国際協力 NGO—エコマットラの活動についてのオリエンテーション
5. 事前学習5 渡航前確認
6. 海外実習
7. 海外実習
8. 海外実習
9. 海外実習
10. 海外実習
11. 海外実習
12. 海外実習
13. 事後学習 1 海外実習の振り返りと共有、発表の準備
14. 事後学習 2 発表、振り返り

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

テキストは必ず読むこと。

参考文献にも目を通し、渡航先地域に関する事前学習を行うこと。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

事前学習への参加(25%)/現地実習への参加態度(50%)/事後学習への参加および口頭発表(15%)/学習内容の報告(レポート)(10%)

テキスト (Textbooks)

1. 日下部尚徳、2017、『バングラデシュを知るための 66 章【第 3 版】』、明石書店 (ISBN:978-4750345710)
2. 日下部尚徳、2018、『わたし 8 歳、職業、家事使用人。 : 世界の児童労働者 1 億 5200 万人の 1 人』、合同出版 (ISBN:978-4772613620)

参考文献 (Readings)

その他 (HP 等) (Others(e.g.HP))

【履修と選考】

- ・定員 10 名。履修にあたっては事前に選考があります。
- ・募集スケジュールの詳細は 3 月 26 日(土)に R Guide 公開の募集要項を確認してください。
- ・説明会は 4 月中旬、募集受付は 4 月下旬を予定しています。

【履修スケジュール】

事前学習: 8 月(一部 6 月) 海外実習:9 月上旬 事後学習:9 月下旬
詳細な日程については、説明会及び募集要項で確認をすること。

【履修推奨科目】

以下の科目を履修しておくことを推奨します。

- DM535/国際協力・開発学概論
- DM407/Introduction to International Development and Cooperation
- DM544/国際協力・紛争研究概論
- DM607/フィールドワーク
- DM673/国際協力・開発学特論
- DM540/国際協力・紛争研究特論
- DM542/多文化共生概論
- DM664/多文化共生特論

【その他】

- ・海外実習の参加費はすべて自己負担となります。各プログラムの費用については募集要項を確認してください。
- ・この科目は履修中止不可科目です。
- ・現地活動日程はあくまで予定であり、都合により変更となる場合があります。
- ・各プログラム定員に満たない場合は追加募集を行う可能性があります。追加募集においても最低催行可能人数に達しない場合には、プログラム実施を取りやめる場合があります。その場合、履修登録は行われません。
- ・感染症流行および治安情勢等やむを得ない事由によりプログラムを中止ないし変更せざるを得ない場合があります。その場合は、履修中止申請が可能であるが、旅行会社等の規定に応じて発生するキャンセル料は履修学生の負担となります。

【注意事項】

- ・感染症流行により渡航ができないと判断された場合には、バングラデシュと日本をインターネットで結んだオンライン授業を行います(定員 15 名、最小催行人数 4 名)。その場合、プログラム費用は発生しません。

注意事項 (Notice)